

中学生向け

「たのしく学べるおうち時間」 世界のこと、わたしのことを知ろう



◇ どんなことをするの？

1. 絵本を読んでみましょう
2. ワークシートに取り組んでみましょう
 - ストーリーシート（3人のストーリー）と、情報シート①②を見ながら取り組んでみましょう。ストーリーシートは動画版もあります。内容は同じです。好きな方を選んでください。
 - 回答は情報シート②裏面に書いてあるので、答え合わせに使いましょう。

使用絵本：「おおきなかぶ」福音館書店



公益社団法人

シャンティ国際ボランティア会
Shanti Volunteer Assoc.

学校で勉強ができることはすごいこと！

世界には、戦争や貧しさ、地震などの災害で、勉強することが出来ない子どもがたくさんいます。勉強したくても・・・



貧しい家庭では、家計を助けるために子どもは労働力として考えられ、家事や農作業の手伝い、姉弟の世話をして一日が終わります。戦争が起きているところでは、安心して学校に行くことができず、勉強する機会が奪われています。

学校があっても・・・

家の近くに学校がなく、何時間も歩いたり、道がないためにボートで移動することもあります。校舎の壁や屋根がない学校もあります。安心して勉強が出来ることは、当たり前ではないのです。

絵本にはこんな役割があります



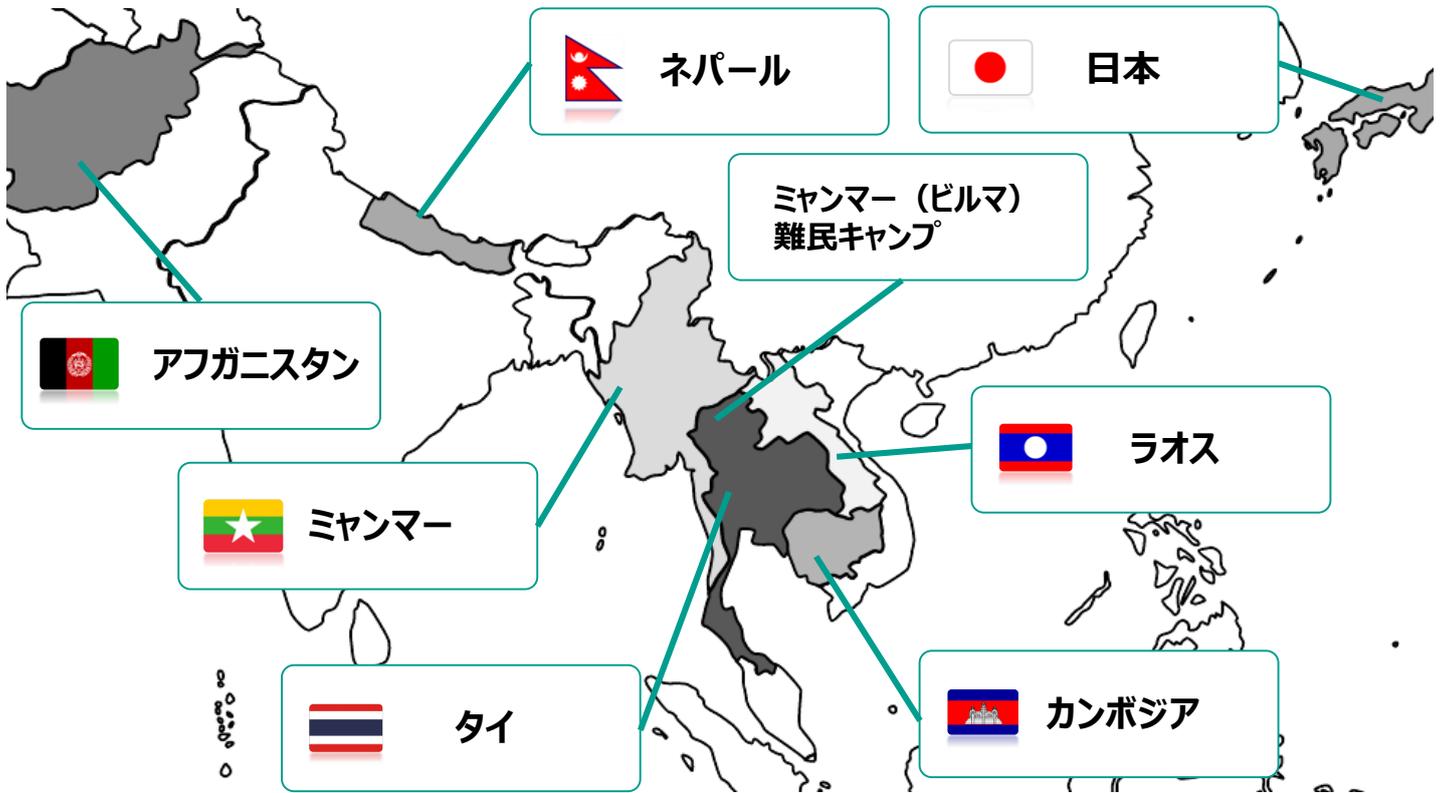
ものがたりを通して、先人の知恵や歴史を学ぶことができます

さみしいとき、悲しいとき、絵本を読んで元気をもらったり、はげましてもらうことができます。

行ったことがない国のこと、食べたことのない料理のこと、人の暮らし。たくさんの、初めて知ることが絵本にはつまっています。



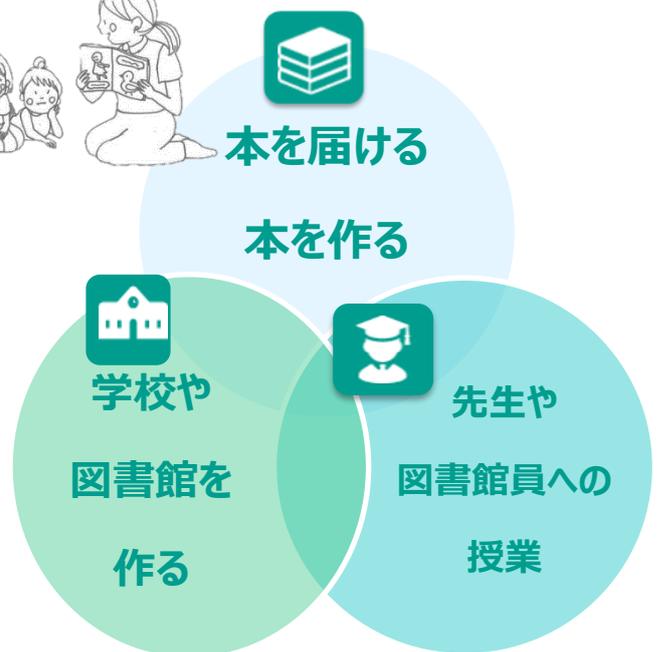
シャンティはアジアの7つの国と8つの地域で活動しています



シャンティの活動

シャンティ国際ボランティア会は
40年間に渡り、本を読む機会をつくり、
それを活かす人を育成し、安心して学
べる場所をつくる活動をしてきました。

困難な状況にいる人や弱い立場にいる
人が、本を知り、教育を受けることで、
自ら考え、自分の中に力をつけて、
未来に希望を持って生きて行けるよう、
取り組んでいます。



「本のかを、生きるかに。」 難民キャンプで絵本に出会った3人のストーリー

3人のストーリーを読んで、別紙のワークシートにあなたの考えを書いてみましょう

ミャンマー・ビルマ難民キャンプ

ミャンマーとタイの国境沿いには、紛争や迫害から逃れて祖国ミャンマーからタイ側に逃れてきた人たちが暮らす難民キャンプがあります。キャンプが設立されたのは1984年ですが、現在も9つの難民キャンプに約9万人以上が暮らしています。その多くはカレン族をはじめとする少数民族です。人々は難民キャンプを出て他の国で新たな生活をすることもできず、家も仕事もない祖国ミャンマーにも今はまだ帰還できない、と将来への不安を抱えています。

この難民キャンプに、シャンティ国際ボランティア会が運営する図書館があり、日本から絵本を届けています。この日本の絵本には、難民の人たちが読めるように、母国語であるカレン語や、祖国ミャンマーの公用語であるビルマ語の翻訳シールが貼られています。



① タ・ティさんのストーリー

難民キャンプ内にある図書館で、穏やかなお母さんのような眼差しで本棚に絵本を整理して並べる図書館員のタ・ティさん。タ・ティさんは戦火を逃れ、2007年にキャンプにたどり着きました。容易にキャンプの外に出ることもできない制限の多い暮らしの中で、やがて図書館で本に出会いました。



お話が始まると
子ども達はすぐに夢中になるわ

タ・ティさんは「キャンプで暮らす子どもたちに、絵本は外の世界のことを教えてくれます」と言います。絵本にはキャンプの中にはない乗り物や動物や食べ物や職業など、たくさんの方が描かれています。

図書館では読み聞かせの会を開いていて、ある日、たくさん子どもたちを前に、日本から届いた『おおきなかぶ』の絵本の読み聞かせをしました。

「おはなしが始まると子どもたちはすぐに夢中になるわ。日頃の不安や恐れのお気持ちがどこかへ行ってしまいたい。私はその表情を見るのが何よりうれしいの。」とタ・ティさんは言います。

かぶを引き抜くシーンでは、子どもたちがおばあさんや孫、犬、猫、ねずみの役になり、おじいさん役のタ・ティさんの後ろに並び、『うんとこしょ、どっこいしょ』と、読み聞かせを聞いているみんなと一緒に声を出しながら、力を合わせてかぶを抜きました。「抜けたね！」と子どもたちは嬉しそうに、少し興奮しながら手をたたいて、おはなし会が終わりました。タ・ティさんは、おはなしが持つ力をおかみしめながら言います、「絵本はいつも私たちを癒してくれます。」

② エッ・ブルー・トー君のストーリー

難民キャンプ内にある小学校で同級生と一緒に勉強に励む
エッ・ブルー・トー君は、9時から3時までの授業が終わると、
毎日図書館に行きます。「ここにある本を全部読みたいんだ」
と、何冊か絵本を選んで手に取りました。エッ・ブルー・トー
君は難民キャンプで生まれ育ち、キャンプの外に出たことはあ
りません。



『ねずみくんおおきくなったらなにになる?』の絵本を手に取ると、「僕の好きな絵本。ネズミくんには夢があってね、歯医者さんになって自分より大きな動物の歯を治すんだ。夢は叶うんだって思ったよ。」と話してくれました。絵本の主人公に自分を重ねて想像を膨らませて、絵本から何かを感じて学びと自信を得たような顔つきです。

写真掲載絵本：「ねずみくん おおきくなったら なになになる?」ポプラ社

③ マー・ジーさんのストーリー

「私は読み書きができないから苦労ばかりしてきたわ。もし読み書きができていたら違った人生だったでしょうね。標識も読めるし、行きたい場所へ行けたはずね」と語るマー・ジーさんは、ミャンマーの村から逃げる時に必死に夫の腕をつかんで、逸れて路頭に迷わないように、命からがら難民キャンプにたどり着きました。



マー・ジーさんの日常は、配給で得た食料を使って家族のごはんを作り、井戸で洗濯物を洗い、箒で家を掃除して、家事を繰り返す毎日です。自ら新聞や本で情報を得たり、慣れない物を使って新しいことに挑戦したりはできません。

ある日、家では娘が図書館から借りた絵本を読んでいた。その傍らで、マー・ジーさんは洗濯物を干していました。絵本を読んでいる娘の横に座り、「何の絵本を読んでいるの?また読んで聞かせてくれるかい?」と聞くと、娘は『さよならまたね』の絵本を、文字の読めないお母さんにいつものように読んで聞かせはじめました。「・・・、おしまい」読み終わると、マー・ジーさんは「ありがとうね」と言って娘の頭をやさしくなでました。娘ははにかんでお母さんの顔をちらりと見ました。

「娘は図書館に出会って絵本を読めるようになったの」と嬉しそうに話すマー・ジーさんは最後に、「娘には私よりもっともっと良い人生をおくってほしいわ」とつぶやきました。

写真掲載絵本：「さよならまたね」ひさかたチャイルド

本の力を、生きる力に。

シャンティは35年にわたって、アジアの各地に絵本を届けて来ました。

ボランティアの手によって、現地のことばが貼られた絵本。全国からシャンティの事務所に集められます。その数は、年間でおよそ1万8000冊。毎年、たくさんの人の手を渡り、海を超え、各地へ届けられています。

絵本を通して、文字を覚えることができます。

先人の知恵や歴史を学ぶことができます。

外の世界へ、視野を広げることができます。

あなたの届ける絵本が、彼らの人生をたしかに支えています。



写真掲載絵本：「ぐりとぐら」福音館書店
「うずらちゃんのたからもの」福音館書店



ミャンマー（ビルマ） 難民キャンプ



©Yoshifumi Kawabata

★ 難民キャンプでの言葉

少数民族のカレン族が生活する難民キャンプではカレン語という言葉を使っています。カレン語のあいさつを学んでみましょう。

- こんにちは
ゴラーゲ

ဂီလာအဂု

- ありがとう
ターブルッ

တံကျး

- さようなら
ティーロツサツラキ

ထံဉ်လိာ်သးလာံ

- お元気ですか？
オチュアー？

အိဉ်ဆူဉ်ဧါ

★ 難民キャンプってどんなところ？

- 難民ってどんな人？

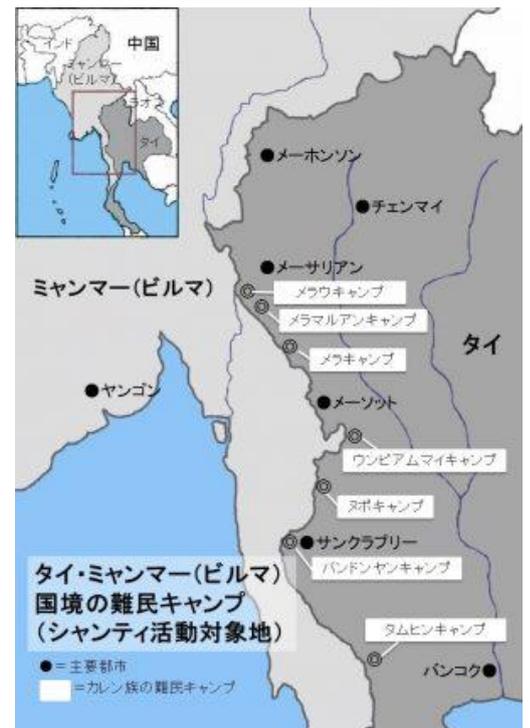
難民とは、自分の命を守るために、自分の国を離れ、他の国に逃げざるを得ない人たちです。

- 難民キャンプとは？

難民たちが集まって生活しているところ。タイには、ミャンマーとの国境沿いに9つのキャンプがあり、ミャンマーから逃げてきた人たちが多く生活しています。

- なぜ難民キャンプができたのか？

ミャンマーにはたくさんの少数民族がいます。ミャンマーの少数民族と政府は対立してきました。自分の命や家族を守るためにミャンマーからタイに逃げる少数民族の人がでて、難民キャンプができました。キャンプができてから30年以上がたった今でも、9万人以上の人々がキャンプで生活しています。



タイとミャンマーの国境沿いにあります。

★どんな生活をしているのか？

- 子どもたちは？
子どもたちは朝学校へ行き、午後3時には家に帰ります。放課後は外で遊んだり、図書館で絵本を読んだりします。
- 大人は？
大人が働ける場所は少ないです。職業学校で語学や裁縫を習う人もいますが、ほとんどの大人は仕事をせず、家の周辺で1日過ごしています。



★生活環境は？

- どんな家に住んでいるのか？
家は配給される竹や葉を使って自分たちで建てます。難民キャンプは家が集まっていて、燃えやすい素材でできているため、火事などの災害に弱いのです。
- インターネットは使えない
インターネットはタイ政府から禁止されています。掲示板や、図書館の本や新聞を読んだりして情報を得ています。



★食べ物？

- 民族によって異なる
難民キャンプにはいろいろな民族の人がいます。民族によって食べるものがちがいます。
- 配給
難民キャンプでは食べ物は配給されます。お店もあります。米、大豆、魚のペースト、砂糖、乾燥トウガラシ、塩、油などは配給されます。肉や野菜を買って料理を作ります。主食はお米です。



★難民キャンプの中の図書館

- コミュニティ図書館
子どもから大人まで、たくさんの方が本を読み訪れます。紙芝居や絵本の読み聞かせ、お絵かきやゲームなど、子どもたちが楽しめる活動をたくさん行っています。
- 移動図書館
難民キャンプは広いので、遠い学校でも図書館を利用できるように、保育所や小学校、地域の公民館などで、移動図書館活動を行っています。



★学校はどのような感じか？

- 難民キャンプの中の学校
難民キャンプにも、幼稚園、小学校、中学校、高校があります。
- 教科
小学校では、英語、カレン語、ビルマ語、地理、算数、保健などを学ぶことができます。
- 職業学校
大人は学校の先生になるための勉強をしたり、働くために農業や裁縫を習ったりすることもできます。



★水はどうしている？

- 水道はない
難民キャンプには水道がありません。みんなで使う水汲み場があり、そこでポリタンクに水を入れて運びます。
- 火事防止のビニール袋
キャンプは家がたくさん並んでいるので、火事がおきると火が広がりやすいです。そのため、家の前にビニール袋に水を入れたものをぶら下げて、対策をしています。



世界の教育状況について知ろう

答えは、裏面下に記載があります。別紙のワークシートに答えを書いてみましょう。

クイズ

第1問：

世界では、どのくらいの子どもが小学校に通っていないでしょう？

- A. 5人に1人 (約1億4,000万人)
- B. 12人に1人 (約5,800万人)
- C. 25人に1人 (約2,700万人)
- D. 100人に1人 (約1,400万人)



クイズ

第2問：

世界では、どのくらいの子どもが小学校に通うのを途中でやめてしまうでしょう？

- A. 5人に1人
- B. 10人に1人
- C. 20人に1人
- D. 100人に1人



クイズ

第3問：

世界で、読み書きができない大人はどれくらいいるでしょう？

- A. 2人に1人 (約15億5,000万人)
- B. 6人に1人 (約7億8,000万人)
- C. 18人に1人 (約2億3,000万人)
- D. 50人に1人 (約6,000万人)



クイズ

第4問：

右の3つのコップには、それぞれ「水」「毒」「薬」と書かれています。「薬」はどれでしょう？

A

B

C



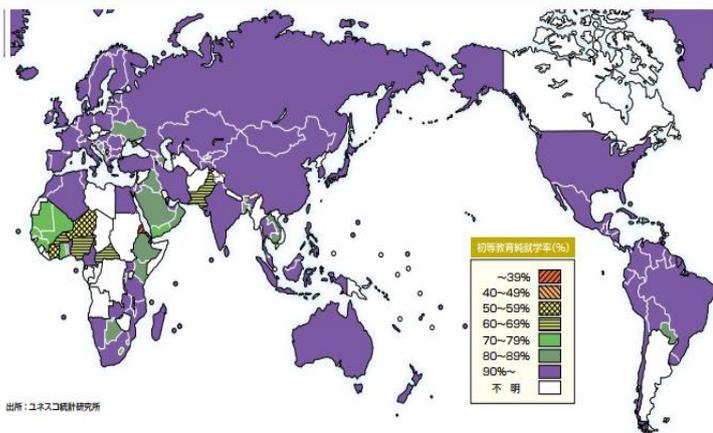
世界の教育状況について知ろう

なぜ、学校に行けなかったり、途中で学校に通うことを諦めてしまったり、文字の読み書きができない大人がいるのでしょうか？

子どもの就学率

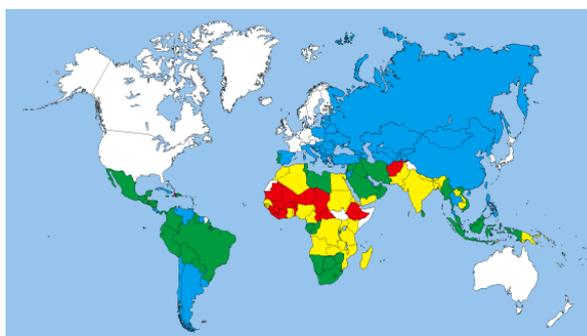
世界で**6,100万人**の初等教育学齢の子どもたち、
中等教育学齢の子どもを含めると**2億6,300万人**が不就学

資料1 世界の就学率(初等教育)



世界の識字率

世界で**7億5,800万人**の人が、読み書きができず、
その**63%**が女性といわれています



※この地図は国境の法的地位について何らかの立場を示すものではありません。

15歳以上で読み書きできる人の割合



[単位：%/2009-2013年]

教育を受けられない環境

① 紛争・災害・迫害

外的要因に巻き込まれて生きることさえ困難な状況に陥ってしまう

② 引き継がれる貧しさ

経済的な貧しさから抜けだせず、貧困の連鎖が次の世代に及ぶ

③ 子どもは無償の労働力

学校に行かせるよりも家計を支える働き手にしたい

④ 少数民族の読み書きの壁

学校で学ぶのは普段話す母国語ではない慣れない公用語

⑤ 学んだ読み書きを忘れてしまう

本がなかったり、日常で復習できないと、習得できない

十分な教育を受けられないと・・・

貧困の連鎖から抜け出せなくなります

貧困サイクル(識字との相関)



SDGs (持続可能な開発目標)

17目標 169のターゲット

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変革するための17の目標



持続可能な
より良い世界を
目指して、
私たち自身が
取り組むことが
求められています



すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を
確保し、生涯学習の機会を促進する。

たのしく学べるおうち時間
「世界のこと、わたしのことを知ろう」

名前

★「3人のストーリー」を見て考えてみよう
(3人のストーリーは、動画版と紙版「ストーリーシート」があります)

- ・「3人のストーリー」を見た、あなたの気持ちに近いもの2つに○をつけてみましょう。
<驚いた・悲しい・楽しそう・自分とは違う・自分には関係ない・もっと知りたい・分からない>
○をつけた理由：
- ・図書館員のタ・ティさんは、絵本は子どもたちにとってどんなものだと話していましたか。

★「3人のストーリー」「情報シート①」を見て、難民について考えてみよう

- ・難民キャンプでの生活とあなたの生活で、共通点・違う点をたくさん書き出してみましょう。

共通点：

(例：お米が主食)

違う点：

(例：大人が働ける場所が少ない)

★「情報シート②」を見て、世界の教育状況を知ろう

- ・世界には()人に1人()万人)の子どもが小学校に通っていません。
- ・世界には()人に1人の子どもが、小学校に通うのを途中でやめてしまいます。
- ・世界で、読み書きができない大人は()人に1人()億()万人)います。
- ・なぜ、教育をじゅうぶんに受けられないのでしょうか

5つ考えを挙げてみましょう。 [

]



★「3人のストーリー」「情報シート①②」を見ながら、想像してみよう

・文字の読み書きができない、とはどういうことでしょうか。文字の読み書きができないと、将来どういうことが起こると思いますか？

(例：本や新聞が読めず、地域の情報が得られない)

あなたは頭が痛くなったとき、
家にある薬を飲もうと思いました。
どれを飲めばよいか分かるかな…？

A

B

C



★「3人のストーリー」の中で、大人も子どもも、絵本を読んでいたね。

・絵本を読むことで、どんな効果があると思いますか？考えてみましょう。

(例：キャンプの外に出られない人たちにとって、外の世界を知るきっかけになる)

★学習のまとめ

・世界の教育状況を良くしていくために、わたしたちはどんな世界を作ることが必要だと思いますか。

(例：男女平等に教育が受けられる世界)

・今日のワークを通じて、自分にどんなことができるかを書いてみましょう。

(例：今日知ったことを周りの人に話す)

・今日の感想、質問



イラスト・きよはら えみこ

写真・川畑嘉文

©シャンティ国際ボランティア会